



九月 (小)

ながつき

房宿

九月七日白露の節より
月命丁酉七赤金星の月
暗剣殺西の方

旧 七月大
八月小

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	水	みづのえ	ね六白		防災の日、関東大震災記念日、八せん始め、富山八尾風の盆(3日迄)、一粒万倍日 旧七月大	廿五	先勝	さだん	箕	天おん	5.13 18.09	23.59 14.16	15.28 22.30	6.18 18.48
2日	木	みづのとし	五黄			廿六	友引	とる	斗	●	5.14 18.07	— 15.09	15.46 22.30	7.34 20.40
3日	金	きのえ	とら四緑		不成就日	廿七	先負	やぶる	牛	ぶく日	5.14 18.06	0.52 15.58	16.07 22.30	8.33 21.29
4日	土	きのと	う三碧		敦賀氣比神宮祭	廿八	佛滅	あやぶ	女	神よし	5.15 18.05	1.51 16.42	16.29 22.30	9.21 22.04
5日	日	ひのえ	たつ二黒			廿九	大安	なる	虚	大みやう	5.16 18.03	2.53 17.20	16.52 22.36	10.04 22.36
6日	月	ひのと	み一白			卅	赤口	おさん	危	月とく	5.17 18.02	3.59 17.55	17.16 22.30	10.43 23.07
7日	火	つちのえ	うま九紫		白露一八時五三分、 ●朔九時五二分、 旧八朔 旧八月小	朔	友引	おさん	室	めもん	5.17 18.00	5.05 17.57	17.40 22.39	11.20 23.39
8日	水	つちのえ	うま八白		二日灸、太田呑竜開山忌、不成就日	二	先負	ひらく	奎	●	5.18 17.59	6.12 18.27	18.06 22.39	11.56 23.39
9日	木	かのえ	さる七赤		重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日、 庚申、一粒万倍日	三	佛滅	とづ	婁	大みやう	5.19 17.57	7.20 19.27	18.31 22.39	12.30 23.39
10日	金	かのと	とり六白		二百二十日	四	大安	たつ	婁	大みやう	5.20 17.56	8.28 19.58	18.56 22.39	13.03 23.39
11日	土	みづのえ	いぬ五黄		東京芝大神宮しょうが市(21日迄)	五	赤口	のぞく	胃	母倉	5.20 17.55	9.38 21.11	19.21 22.39	14.02 23.39
12日	日	みづのとし	四緑		福岡宮崎宮放生会(18日迄)、八せん終り	六	先勝	みつ	昂	ぢう日	5.21 17.53	10.49 21.32	19.47 22.39	1.58 14.08
13日	月	きのえ	ね三碧		世界の法の日、甲子	七	友引	たいら	畢	天おん	5.22 17.52	12.00 21.56	20.16 22.39	2.43 14.42
14日	火	きのと	うし二黒		●上弦五時三九分	八	先負	さだん	觜	百事吉	5.23 17.50	13.10 22.49	20.51 22.39	3.45 15.31

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じよう。この季節、夏場の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱つていたり、と健康を害しやすい。健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表していて、注意を喚起するようになつたのが独特の呼称である。

【冠】九月九日は五節句の最後「重陽(九)という数字を陽数とした陰陽術による」の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝う。わらしも伝えられている。

【婚】この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それな

15日	水	ひのえ	とら一白		老人の日、老人週間(21日迄)、 京都石清水八幡宮祭、三隣亡、 鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ、一粒万倍日、 不成就日	九	佛滅	とる	参	天おん	5.23 17.49	14.13 23.49	14.25 21.53	5.21 17.55
16日	木	ひのと	う九紫			十	大安	やぶる	井	天おん	5.24 17.47	15.09 —	15.21 —	7.07 20.11
17日	金	つちのえ	たつ八白			十一	赤口	あやぶ	鬼	天おん	5.25 17.46	15.57 —	15.52 —	8.23 21.11
18日	土	つちのとし	み七赤		岸和田だんじり祭、己巳	十二	先勝	なる	柳	十し	5.26 17.44	16.37 2.02	16.19 —	9.19 21.52
19日	日	かのえ	うま六白		岩手水沢駒形祭、子規忌、大つち	十三	友引	おさん	星	月とく	5.26 17.43	17.11 3.09	16.44 —	10.04 21.52
20日	月	かのと	ひつじ五黄		【敬老の日、彼岸入り、空の日、 動物愛護週間(26日迄)、神奈川寒川神社例祭 ○望八時五五分、十五夜、一粒万倍日、 秋の全国交通安全運動(30日迄)】	十四	先負	ひらく	張	●	5.27 17.41	17.40 4.14	17.07 —	10.42 22.59
21日	火	みづのえ	四緑			十五	佛滅	とづ	翼	神よし	5.28 17.40	18.07 5.17	17.28 —	11.16 23.30
22日	水	みづのとし	三碧			十六	大安	たつ	軫	大みやう	5.29 17.38	18.34 6.17	17.48 —	11.46 —
23日	木	きのえ	いぬ二黒		【秋分の日、秋分四時二一分、 彼岸中日、川柳忌】	十七	赤口	のぞく	角	母倉	5.29 17.37	19.00 7.17	18.08 —	12.13 —
24日	金	きのと	み一白		結核予防週間、不成就日	十八	先勝	みつ	亢	月とく	5.30 17.35	19.27 8.15	18.27 —	0.30 12.39
25日	土	ひのえ	ね九紫			十九	友引	たいら	氐	大くわ	5.31 17.34	19.56 9.14	18.46 —	0.59 13.02
26日	日	ひのと	うし八白		彼岸明け、和歌山日前・国懸祭	廿	先負	さだん	房	神よし	5.32 17.33	20.29 10.12	19.06 —	1.29 13.24
27日	月	つちのえ	とら七赤		小田原道了尊大祭、社日、小つち、 三隣亡	廿一	佛滅	とる	心	きこ	5.32 17.31	21.07 11.10	19.26 —	2.02 13.45
28日	火	つちのとし	六白		一粒万倍日	廿二	大安	やぶる	尾	大みやう	5.33 17.30	21.50 12.07	19.47 —	2.41 14.05
29日	水	かのえ	たつ五黄		●下弦一〇時五七分、曹洞宗両祖忌	廿三	赤口	あやぶ	箕	百事吉	5.34 17.28	22.40 13.01	20.09 —	3.39 14.22
30日	木	かのと	み四緑			廿四	先勝	なる	斗	十し	5.35 17.27	23.36 13.51	14.55 —	5.18 —

くても心労が重なつた直後だけに、ハードなスケジュールは極力避け、一生の思い出にぜひ心楽しい旅行を持ちたいものである。

【葬】彼岸入りから彼岸明けまでの「秋分の日」を中心とした七日間が秋のお彼岸である。先祖に感謝し精霊の供養や墓前の香華の手向け等を行う。暑さ寒さも彼岸まで、暑さの峠もまず越えたものといえよう。

【祭】九月一日は「防災の日」これは大正十二年のこの日関東一円を襲った大地震によって、未曾有(みぞう)の災害が出たために、災害の怖さを銘記するようになされた日である。

旧暦八月十五日は「十五夜の望月」というのは、七月を初秋、八月を仲秋、九月を晩秋といひ、その八月の十五夜が満月だからである。

「敬老の日」九月第三月曜日(平成十五年施行)。社会に尽くしてきた老人を敬愛し長寿を祝う日。また十五日から二十一日までは老人週間(平成十四年施行)である。